

善隣友好



第1回韓国・ハンリム大学生ホームステイ事業。1996年2月5日、日本学科の学生23人が、町内の民家23軒で10日間ホームステイをして、町民と交流をしました。



2014年7月13日、ハンリム大学生の歓迎会を町内で開催。歓迎会は毎回、国際交流協会が主催し、ホストファミリーや町民有志の参加で行っています。



2016年1月24日、ハンリム大学との交流20周年記念式典を町内で開催。ハンリム大学からは学生6人が出席。大学から長年貢献されたホストファミリーに感謝杯が贈られました。



2019年2月22日、南部町国際交流協会会員と町民有志がハンリム大学を訪問しました。国際交流はお互いの国を往来すること。2年又は3年に一回、韓国を訪問しています。



2019年2月23日、大学がある江原道春川市内でハンリム大学関係者と交流をしました。

南部町国際交流協会は、
今後も韓国・ハンリム大学日本学科と相互交流を続けます。

ご挨拶

南部町国際交流協会は、1994年創立し今年で28年目を迎えます。1996年2月交流事業として、韓国春川市にあるハンリム大学日本学科の学生23名が、町内の一般家庭で10日間ホームステイしたのが最初で、新型コロナウイルスが蔓延する前の2019年7月まで、25回218名の学生が本町を訪れました。2000年からは隔年で、米國オハイオ州立大学の学生もホームステイで、同大学の都合により中断するまで4回44人の学生を受け入れました。その他、外国語スピーチ発表会やホストファミリーを中心とした韓国訪問などの事業を行っています。この2年間、新型コロナウイルスの影響で思うような活動が出来ていませんが、今回発行の「善隣友好」で活動の一端を紹介出来れば幸いです。

南部町国際交流協会
会長 塚田 勝美

俳句と川柳で交流しました

韓国・ハンリム大学日本学科に俳句または川柳をお願いしたら、先生や学生たちから、五七五の句が多く届きました。南部町国際交流協会会員も投稿しました。テーマは、「日韓交流」です。

ハンリム大学 14人

遠くでも 心は近く 繋がってる
あの響き 空色の声 ウグイスか
春になれば 私は桜 君はムクゲ
同じ空 国境を超え 未来へと
真心で 作ってみよう 丈夫な糸
顔と顔 あわせて手振る 近くなる
遠い君 遅くなっても 手をつなぐ
風の後 満開になる ふたつの縁
手をつなぎ 平和の道を 共に行く
なりましょう 韓国日本 なごやかに
離れても 同じ季節を 過ごす友
私たち まるで一つの 花みたい
私たち 韓国日本 仲良しに
韓日は 距離が近い 友達だ

日本学科 コ・スリム
日本学科 ノ・ジュン
日本学科 イ・スジン
日本学科 キム・ノア
日本学科 ファン・ユジュン
日本学科 キム・スヨン
日本学科 シン・ウンソン
日本学科 チェ・スビン
日本学科 チョ・ウンイ
日本学科 チェ・エナ
日本学科 イ・チェウン
英文科 チョン・エリム
融合学科 キム・ジェホン
中国人留学生 YUE・WANWAN

南部町国際交流協会 9人

金京恩^{キム・キョウン} 家族がふえて 声はずむ
帰韓する 機影に手振り 涙する
アニョハセヨ はじめて覚えた 韓国語
桜さき 日韓交流 春まだか
トマンナヨ 学生たちと ビール酌む
たくさんの 楽しい時間を カムサハムニダ
まちこがれ せみの声きき 支度でき
言葉じゃない 心でつながる 人と사람^{ヒト}
ホームステイ 出会い交流 笑顔あり

会 員 早田 秀子
会 員 岡田 久男
会 員 入口 幸子
会 員 板井 隆
会 員 田淵 千里
会 員 澤下 由里
会 員 田村 誠
会 員 大下 真史
事務局 宇田 翔一



編集後記

新型コロナウイルスの感染予防対策から、南部町国際交流協会の各事業を21年度も中止しましたが、かわら版特別号「善隣友好」は発行することになりました。25年間交流をしている韓国・ハンリム大学日本学科に、日韓交流をテーマにした俳句または川柳をお願いしたら、交流の大切さを詠んだ句が19件届き感激しました。国際交流は、人と人、心と心の交流です。これからも南部町国際交流協会は、善隣友好を大切に、小さな草の根交流を続けます。

南部町国際交流協会役員

南部町国際交流協会
事務局長 野口 隆資

役員	塚田 秀美
会長	早田 久男
副会長	岡田 隆資
事務局長	野口 隆資
理事	山本 幸子
理事	入口 幸子
理事	板井 隆
理事	田淵 千里
理事	澤下 由里
理事	大下 真史
理事	生田 忠子
理事	遠藤 智央
監事	青砥 日出夫
顧問	永栄 俊夫

※善隣友好…「隣の国など身近なところと仲よくし友情を深める」